ゼロの焦点（1961）

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1961/03/19

【解説】
松本清張の同名長編推理小説を、橋本忍と山田洋次が脚色し、野村芳太郎が監督したミステリー作品。2009年に犬童一心監督により再映画化された。
上野駅から金沢へ旅立つ鵜原憲一を、結婚して七日目の新妻である禎子が見送った。しかし出張から帰ってくるはずの日になっても、憲一は戻ってこなかった。行方不明となった憲一を捜すため義兄が金沢を訪れるが、青酸カリ中毒により死亡してしまう。広告会社に勤務する前、憲一は巡査だったことがあり、パンパン(売春婦)の取り締まりに当たっていたことが判明。義兄の殺害犯としてパンパン風の女が目撃されていた。そして禎子は、憲一が親しかった室田社長が経営する会社で、パンパン独自のアクセントの英語を使う受付嬢がいたことを思い出す。

【クレジット】
監督 野村芳太郎
製作 保住一之助
原作 松本清張
脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto
山田洋次
撮影 川又昂
美術 宇野耕司
音楽 芥川也寸志
出演 久我美子
高千穂ひづる
有馬稲子
南原宏治
西村晃
加藤嘉

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.